

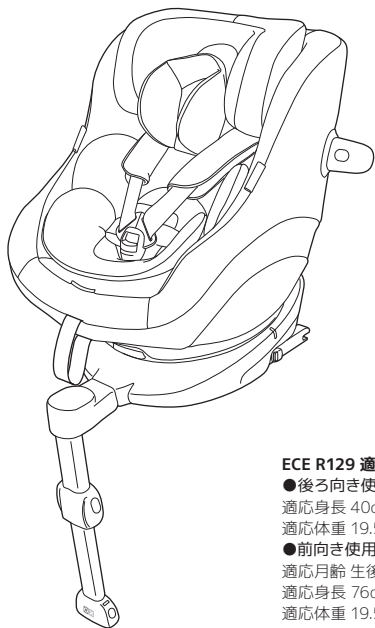
Joie™

ジョイー・チャイルドシート

Spin 360 Gti

スピン360 Gti

取扱説明書 / 保証書



ECE R129 適合

●後ろ向き使用時

適応身長 40cm から 105cm まで

適応体重 19.5kg まで

●前向き使用時

適応月齢 生後 15 ヶ月を超えてから

適応身長 76cm から 105cm まで

適応体重 19.5kg まで



ECE R129: i-Size

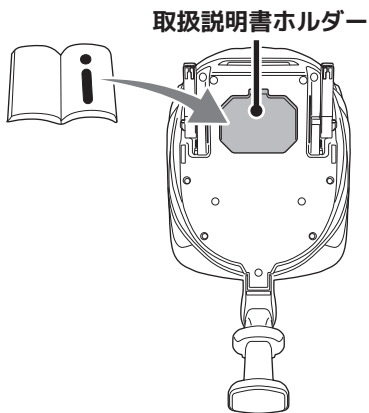
0123RV2

JP Welcome to Joie™

ジョイ・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
自動車との適合について	6
本製品の重要な情報	6
表記の説明	7
内容物の確認	8
各部の名称	9
使用できるお子さまの条件	12
自動車の座席への取り付けに関して	15
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	15
取り付け、使用できない座席	16
使用上の注意事項	19
緊急時の操作	31
基本的な使いかた	32
バックルの使いかた	32
肩ベルトの長さ調節	34
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	36
ソフトパッド	37
サイドインパクトプロテクション	42
自動車の座席への取り付け・取り外し	44
取り付けかた	44
取り外しかた	55
座席（シェル）の回転	59
自動車のシートの調整	61
後ろ向きに回転させる	62
前向きに回転させる	64
リクライニング	67
お子さまの乗せかた	70
後ろ向きで使用する場合	70
前向きで使用する場合	79
お手入れのしかた	90
ソフトパッド、カバー類、パッドの取り外し	91
ソフトパッド、カバー類、肩ベルトパッドのお手入れ	100
シェル、ベース、ISOFIX コネクター、サポートレッグのお手入れ	102
保管のしかた	105
廃棄のしかた	105
保証書	

はじめにお読みください

この度はジョイー・チャイルドシート スピン 360Gti をお買い求めいただき誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けた状態でシェル部が回転するチャイルドシートです。

お子さまの成長に応じて、シェル部の向きを後ろ向き、前向きに切り替えて使用することができます。また、お子さまの乗せ降ろしをやすくするためにシェル部を回転させて使用することができます。

⚠危険

正しい向きで使用する

本製品は、本製品の座席（シェル）が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができます。

ただし、お子さまの身長が 76cm 以上かつ月齢 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。この条件を超えるまでは前向きでは絶対に使用しないでください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内での使用が認められている UN/ECE 規則のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方もかならずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品が取り付けられる可能性のある ISO-FIX 固定装置を装備した車両の情報が記載されています。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp

本製品の重要な情報

本製品は、ECE R129、i-Size 規格に対応したチャイルドシートです。基本的には、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指示された座席に取り付けて使用することができますが、座席の条件によっては適切に使用できなかつたり使用方法に制限が加えられる場合があります。

本製品は、適合する基準により以下の使用条件が定められています。この条件を守ってご使用ください。

●後ろ向き使用時の条件

身長 40cm から 105cm まで / かつ体重 19.5kg 以下

●前向き使用時の条件

身長 76cm から身長 105cm まで / かつ生後 15 ヶ月を超えてから
/ かつ体重 19.5kg 以下

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。




製品の種類	チャイルドシート
主な原材料	樹脂・金属・繊維
パテント番号	特許出願中

表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、かならずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

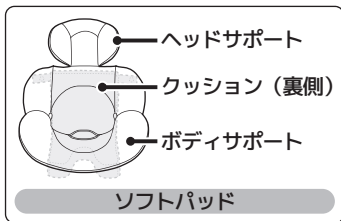
表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

内容物の確認

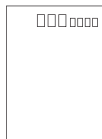
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



※本体に取り付けられています



本書



ユーザー登録はがき



ISOFIX ガイド × 2



サイドインパクトプロテクション × 2※

※サイドインパクトプロテクションは1個のみ使用します。
2個を同時に使用しないでください。



警告

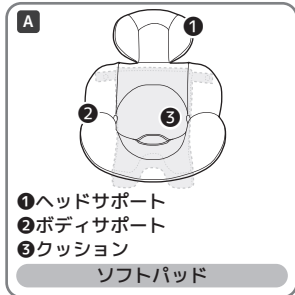
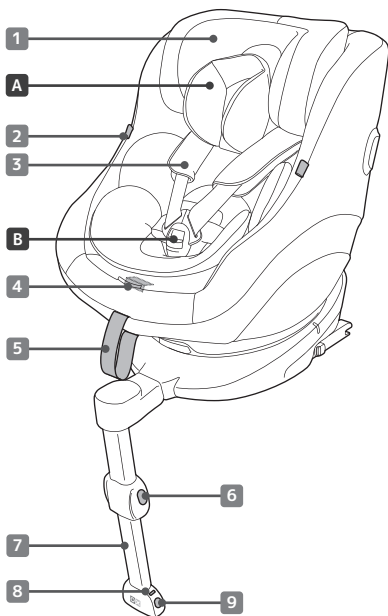
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので本製品を梱包しているビニール袋類は、開梱後直ちに破るなどした上でお子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

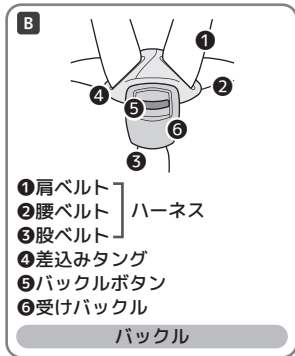
本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して必要に応じてご確認ください。



- ①ヘッドサポート
- ②ボディサポート
- ③クッション

ソフトパッド

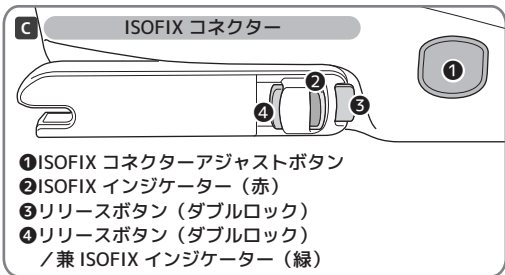
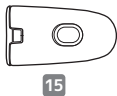
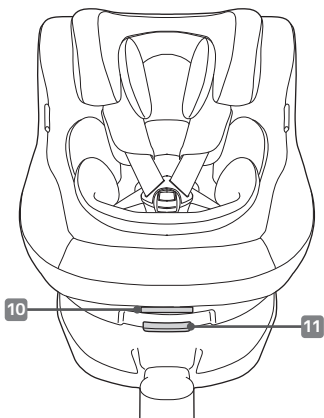


- ①肩ベルト
- ②腰ベルト
- ③股ベルト
- ④差込みタング
- ⑤バックルボタン
- ⑥受けバックル

バックル

- ① ヘッドレスト
- ② 差込みタングホルダー
- ③ 肩ベルトパッド
- ④ ベルトアジャスター
- ⑤ アジャスターベルト

- ⑥ サポートレッグアジャストボタン
- ⑦ サポートレッグ
- ⑧ サポートレッグインジケーター
- ⑨ アジャストボタン



10 リクライニングレバー

11 回転レバー

12 ヘッドレストアジャストレバー

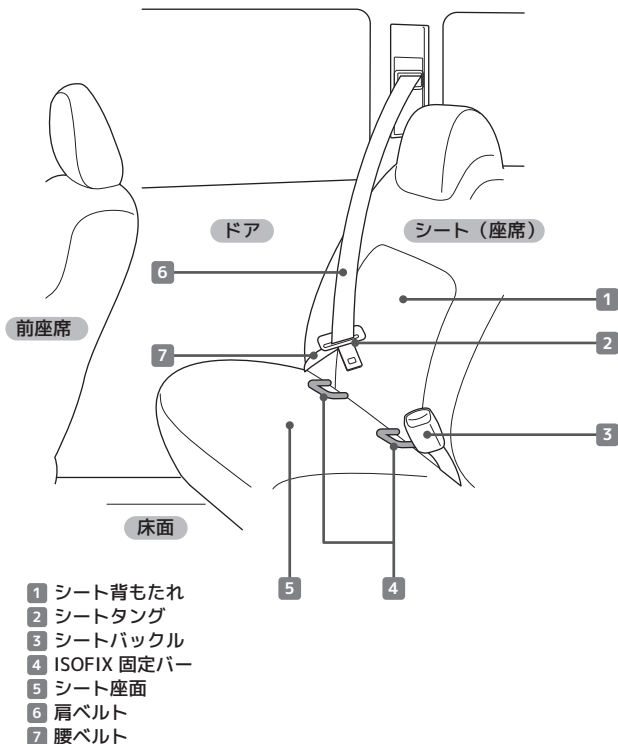
13 サイドインパクトプロテクション差込口

14 ISOFIX ガイド

15 サイドインパクトプロテクション

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



👉 ポイント！

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は ECE R129/03 基準に適合したチャイルドシートであり、身長 40cm 以上の新生児*から身長 105cm まで、かつ体重 19.5kg までのお子さまにご使用いただけます。

本製品は、座席（シェル）部分が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向きまたは前向きに切り替えて使用することができますが、**お子さまが生後 15 ヶ月かつ身長 76cm を超えるまでは、かならず本製品の座席（シェル）を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。（本書を参照して正しく後ろ向きで固定して使用してください）**本製品は後ろ向き、前向きとも、身長 105cm までかつ体重 19.5kg までを使用することができますので、お子さまの身長が 76cm を超えても生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きで使用してください。

この範囲にあてはまらない、また本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

危険

正しい向きで使用する

お子さまの身長が 76cm を超えても、生後 15 ヶ月までは座席（シェル）は後ろ向きにして使用してください。



また、同様に生後 15 ヶ月を過ぎても、お子さまの身長が 76cm を超えるまでは座席（シェル）は後ろ向きにして使用してください。

本製品の使用について

本製品は、自動車の座席に ISOFIX により固定しサポートレッグを床面に接地させて使用します。

お子さまの体格に合わせてハーネスを調節して、ハーネスをねじらないように注意してお子さまを拘束して使用します。

座席（シェル）の向きと使用条件

身長／体重	座席の向き	リクライニング	ソフトパッド
身長：40cm～105cm かつ 体重：19.5kgまで （4歳頃まで）	後ろ向き 	①～⑤	お子さまの身長が60cmになるまでの間は、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。
身長：76cm～105cm かつ 月齢：15ヵ月以上 かつ 体重：19.5kgまで （4歳頃まで）	前向き 		お子さまの成長、体格により窮屈になった場合は、ソフトパッドを調節または取り外して使用してください。

ポイント！

本製品の座席（シェル）は、後ろ向き使用時、前向き使用時ともに5段階でリクライニングを調節することができます。自動車の座面の角度や、お子さまの成長、状態に合わせて調節してください。

お子さまの月齢が低い期間、首がすわるまでの間はリクライニングが立ちすぎないようにして使用してください。

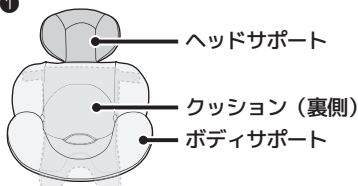
参照 ▶ P14

ソフトパッドの使用

より快適に、安全にご使用いただくため、本製品にはお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるソフトパッドが付属しています。下記を参照して、ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。

●身長60cmまで

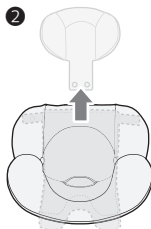
①



お子さまの身長が60cmを超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。お子さまの成長、着衣により窮屈になる場合には、以下を参照してソフトパッドを調節してください。

●生後6ヵ月以降

②



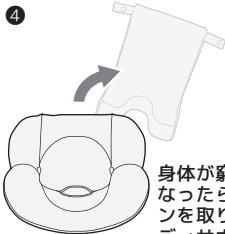
頭部が窮屈な状態になったら、ヘッドサポートを取り外して、ボディサポート（クッション）のみで使用してください。

③



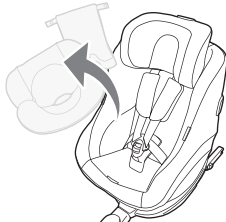
肩、身体が窮屈な状態になったら、ボディサポートを外して、クッションのみの状態で使用することができます。

④



身体が窮屈な状態になったら、クッションを取り外して、ボディサポートのみの状態で使用することができます。

⑤



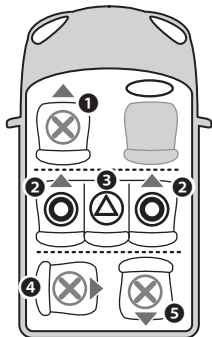
肩幅が広くなり、お子さまが窮屈な状態になったら、すべてのソフトパッドを取り外して使用してください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 取付使用可能
- ③ 後列中央席 条件付使用可
- ④ 進行方向横向きの座席 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 取付使用不可
- ⑥ 3列目以降の座席 条件付使用可

一部車種には後列中央座席、3列目以降に ISOFIX 固定装置が装備されている場合があります。この場合には取付使用できる可能性があります。



⚠危険

取り付け条件を守ること

上記のシート（座席）すべてに取り付け、使用可能とは限りません。上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ取り付けが可能です。

すべての座席に取り付け可能とは限りません

ISOFIX 対応の表記やマークがある座席でも、座席の条件や本製品のライニングの状態によっては取り付けできない場合があります。

⚠注意

回転機構が使用できない場合があります

ISOFIX 対応の表記やマークがある座席でも、座席や車内の構造物に干渉することにより本製品のシェル（座席）の回転機構が使用できない場合があります。

取り付け、使用できない座席

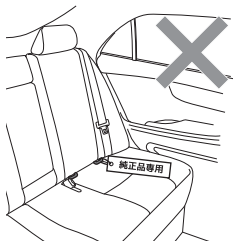
本製品は、すべての自動車のすべてのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

仕様が異なる ISOFIX 固定バーが装備された座席

ISOFIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の ISOFIX 固定バーが装備された座席でのみ取り付け可能です。ISOFIX の仕様については、お車の取扱説明書をご参照ください。



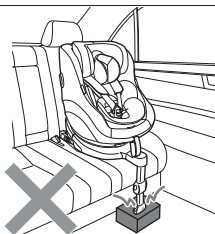
フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には非常に危険です。



床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため床面に収納ボックスなどの構造物やサポートレッグに干渉する段差がある座席では使用できません。



本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。また実際にご使用になる前に非常時や緊急時を想定して、本製品を取り付けることにより自動車の重要な操作に影響をおよぼさないことを確認してください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

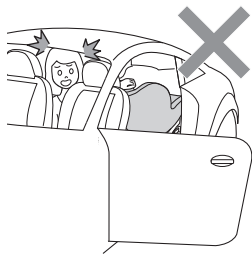
本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、座面が極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、座席の可動操作に干渉する場合、本製品のサポートレッグが接地しない座面位置の高い座席、本製品のベースが浮く座面の低い座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



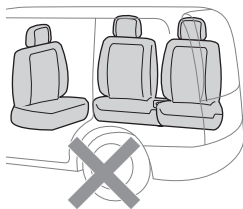
乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態ですべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。



進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席やバス、電車、飛行機、船などの座席にも取り付け使用できません。

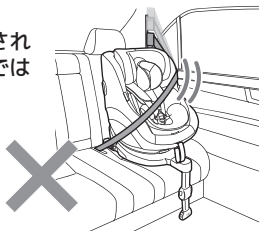


⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では本製品を使用できません。



その他、しっかりと取り付けられない座席 や取り付け作業中に動く座席

取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け、使用ができない座席では使用しないでください。



自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないようにすること

自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や本製品の取り付けの状態に影響をおよぼすおそれがあります。

ISOFIX 対応の表記やマークがある、すべての座席に取り付けられるとは限りません

座席の条件や本製品のリクライニング状態によっては取り付けできない場合があります。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは本製品をお使いいただくにあたって注意していただきたい重要な事柄や「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

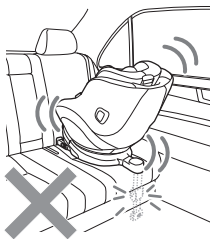
⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本取扱説明書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

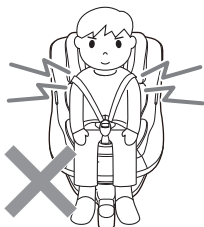
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車のシート（座席）に固定して使用してください。

正しく固定されていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



使用条件を厳守すること

本製品は ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシートです。この基準により使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じた使用可能なお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

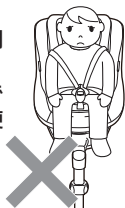


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

体型が合わない場合は使用しないこと

本製品では、お子さまの身長と体重、月齢により使用期間が定められていますが、正しい範囲内でもお子さまの体型、体格により、本製品を調節してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。



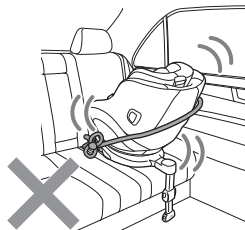
指定以外の耐荷重接点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に記載されている耐荷重接点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、かならず本書および本製品に記載されている指示に従ってください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は、適合する車種の ISOFIX 固定バーに取り付けてサポートレッグを床面に接地させて使用します。またお子さまは正しく調節された本製品のハーネスにより固定して使用します。本製品の固定やお子さまの固定のために、3点式、2点式などのシートベルトの他、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。

また、正しく固定した上にこれらのもので補強してもいけません。これらのものが本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

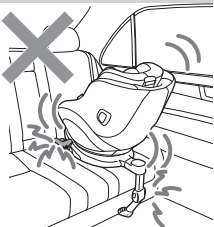


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

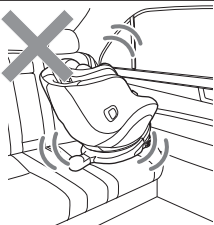
本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

本製品の ISOFIX コネクターや、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合、交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどすることにより重大な事故につながるおそれがあります。



指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと

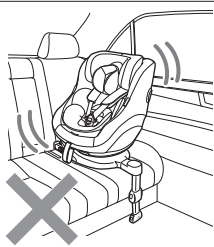
本製品はベースのサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きにしてシートに取り付けてはいけません。



本製品の座席（シェル）は、前向き、後ろ向きのいずれか以外の向きで使用しないこと

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用する場合は、座席（シェル）は、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横に向けた状態では絶対に使用しないでください。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますのでサポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

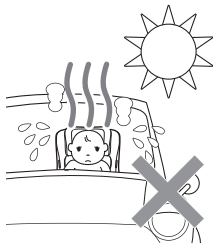
ハーネスを正しく調節して常に装着すること

ハーネスは、正しく調節して、ねじれがないことを確認して使用します。ハーネスの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節して常にバックルを留めておくようにしてください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でもチャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

このような場合は修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



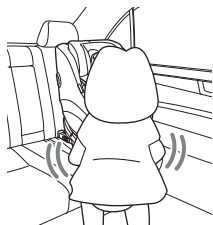


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

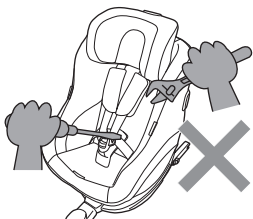
走行前には毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には毎回、チャイルドシートが正しく固定されているかどうか、また本製品が自動車の座席に正しく取り付けられているかどうかをかならず確認してください。



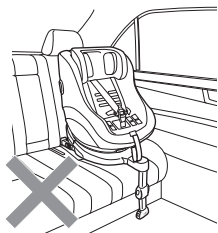
チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を本製品に追加して取り付け使用しないでください。



カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない部品を取り外して使用しないでください。カバー類やウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類やソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまが、サイズの大きすぎる服や厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、おくるみなどの両足が出ない（股ベルトを両足ではさめない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるようにハーネス等を正しく調節してください。

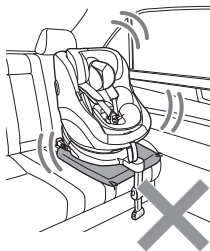
正しく調節できない場合は、お子さまが正しくチャイルドシートに固定できるように着衣を調節してください。また、事故や衝撃を受けた際にお子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないてください。



本製品の下に座布団やクッションを敷かないこと

本製品と座席の間に座布団やクッションなどを敷くと本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けた際に自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

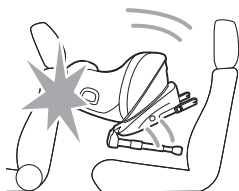


⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

使用しない場合でも、車内では本製品をかならず固定しておくこと

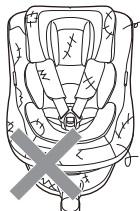
お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には本取扱説明書の指示に従って自動車のシートに正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり他の同乗者にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

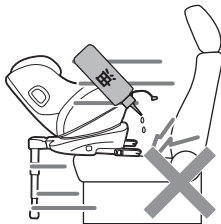
中古品は過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

見た目では判断できない構造的損傷が発生している可能性があります。また、安全のため使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき廃棄するようお願いいたします。



いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても、絶対に**本製品に注油してはいけません**。



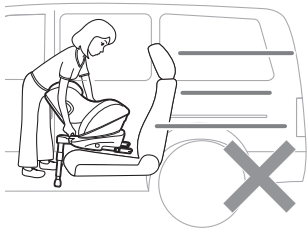


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

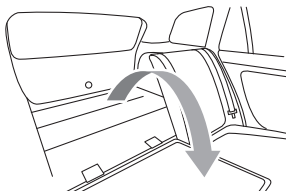
自動車の走行中にチャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中に本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態やお子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合は確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるように座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バーを清潔に保つこと

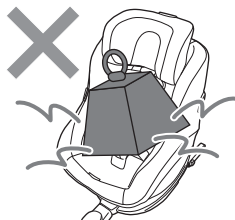
ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バーに、食べかすや、汚れ、ほこりが付着していると本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じて正しくお手入れするようにしてください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

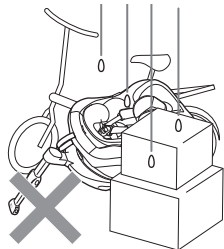
本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたりドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



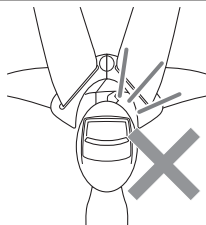
不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



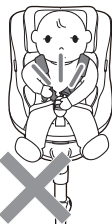
バックルに異常が生じた場合は本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスに異常がありお子さまを正しく締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



バックル、ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたりハーネスやバックルボタンに触れたりすると、ハーネスの装着状態が正しくなくなってしまう場合があります。お子さまにはバックルには触れないように言い聞かせて適宜、ハーネスが正しく装着されているかをご確認ください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品はチャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリアとして使用するなどチャイルドシート以外の目的で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合にはサポートレッグが開かないようにサポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

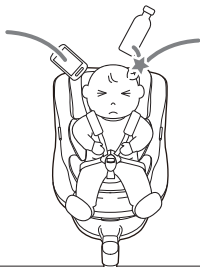


注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

車内の物品は固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

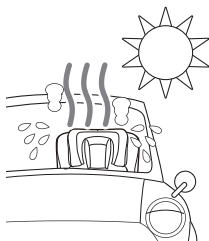


⚠️注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシート[®]の金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ハーネスなどベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際にハーネスを持ったりソフトパッド、生地部分、キャンピーを持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合はサポートレッグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。



トランク内での保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。また、バックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないしないように、お子さまを乗せていない場合でも常にバックルを留めておくようにしてください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

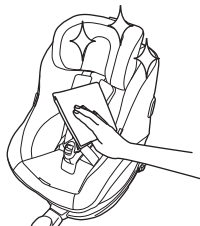
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

疑問点やご不明な点は、販売店またはチャイルドシートメーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



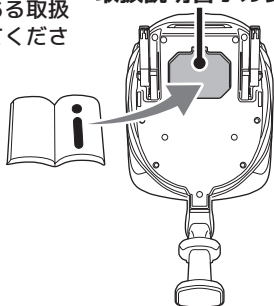
長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるようにしてください。

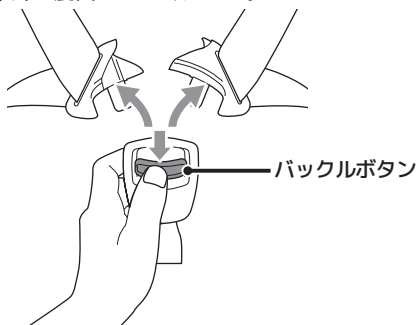
本書は取扱説明書ホルダーに保管しておくこと

必要なときにいつでも参照できるように、本書はベースの底面（裏側）にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

取扱説明書ホルダー**緊急時の操作**

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。その上で直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際にハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は本製品の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから外して本体ごと脱出させてください。または、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断してお子さまを車外に脱出させてください。



基本的な使いかた

ここでは、後ろ向き使用時、前向き使用時に共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。



適切に使用すること

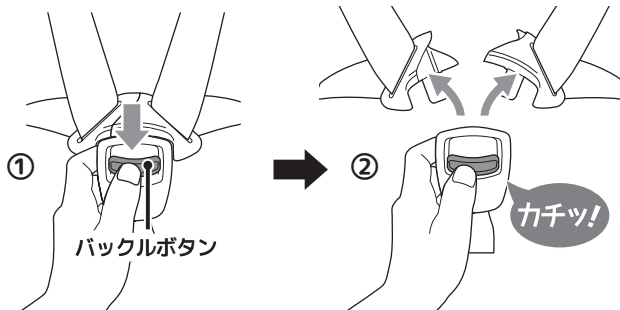
不適切な使用は重大な事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じた調節を行い、適切に使用してください。

バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

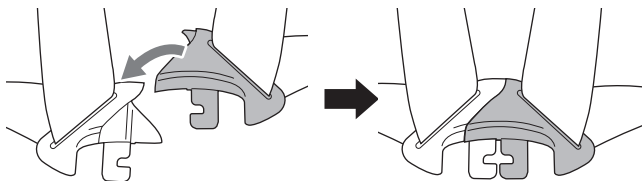
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込みタンクが外れます。



バックルの留めかた

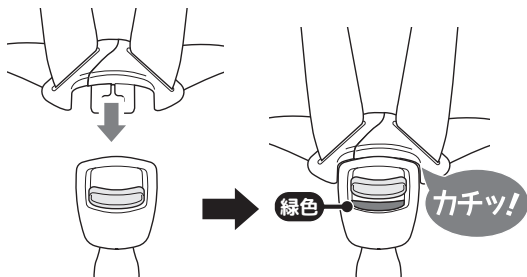
01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



02

そのまま、差込みタングを受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント!

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

⚠危険

バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れてお子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合はただちに本製品の使用を中止して巻末の保証書に記載のお客さまサービスまでご連絡ください。

⚠注意

バックルを清潔に保つこと

食べかすやゴミがバックル内部に入ったりバックルに付着しないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

肩ベルトの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるように、肩ベルトの長さを調節します。

⚠危険

肩ベルトの長さは適切に調節すること

肩ベルトはかならず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際にお子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

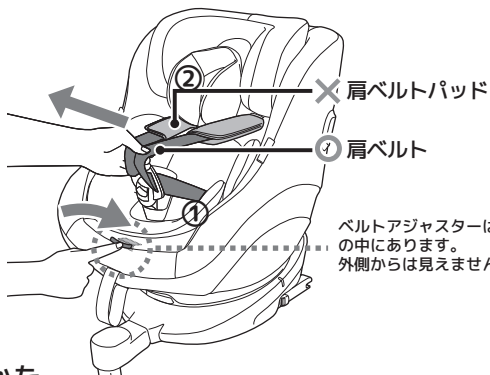
肩ベルトは左右同じ長さに調節すること

左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。かならず左右の肩ベルトを同じ長さに調節してください。

ゆるめかた

01

シェル前端のアジャスターベルトの上にある、①ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持ってゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



締めかた

01

アジャストベルトを手前に引くと肩ベルトが締まります。

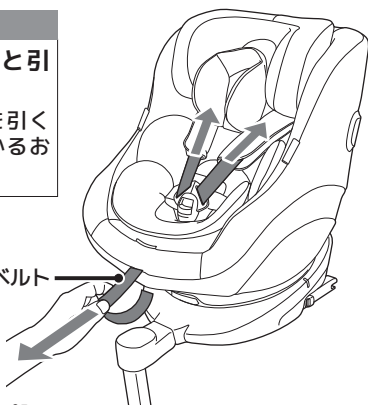


注意

アジャストベルトはゆっくりと引くこと

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

アジャストベルト



ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルトは連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせてヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さはかならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

01

あらかじめハーネスをゆるめておきます。

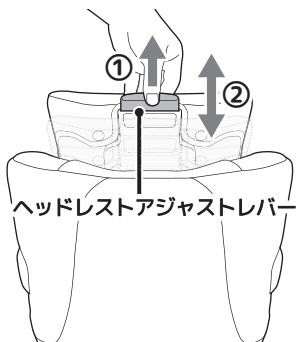
参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

👉ポイント！

ハーネスが締められた状態ではヘッドレストは高くする方向には動きません。ヘッドレスト、肩ベルトの高さを調節する前にハーネスをゆるめておいてください。

02

ヘッドレスト上部背面の、①ヘッドレストアジャストレバーを引き上げながら、②ヘッドレストを上下にスライドさせてヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは6段階で調節できます。



 **ポイント！**

ヘッドレスト（肩ベルト）の適切な高さは、以下を参照してください。

参照 P74 ▶後ろ向きで使用する場合▶お子さまの乗せかた▶07

参照 P84 ▶前向きで使用する場合▶お子さまの乗せかた▶07

ソフトパッド

本製品のソフトパッドには、ヘッドサポートとボディサポート、クッションがあります。

身長が60cmになる頃まではすべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。

お子さまが成長して窮屈になってしまう場合、ソフトパッドは調節して使用することができます。P14「ソフトパッドの使用」を参照して適切に調節してください。

参照 P14 ▶ソフトパッドの使用

 **ポイント！**

ご購入時にはすべてのソフトパッド（ヘッドサポート・ボディサポート・クッション）が取り付けられています。お子さまの体格、成長に合わせて調節して使用してください。

ソフトパッドを調節して使用する場合の操作と、ソフトパッドの取り付け、取り外しの操作は基本的に同じです。

取り外し

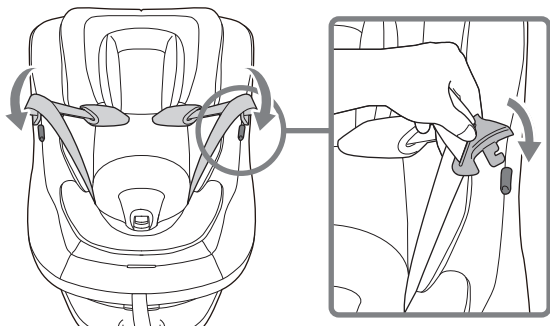
01

あらかじめ肩ベルトをゆるめてバックルを外しておきます。

参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

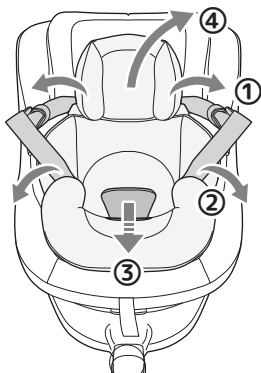
02

左右の差込みタングの先端をそれぞれシエルの左右の差込みタングホルダーに差し込んでおきます。



03

①左右の肩ベルト、②左右の腰ベルトをそれぞれソフトパッドのすき間から外して、③受けバックル、股ベルトパッドを通し穴から抜いて、④ソフトパッドを取り外します。



04

バックルを留めます。

ソフトパッドを大切に保管すること

取り外したソフトパッドはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。ソフトパッドの調節によりソフトパッドの一部分を取り外した場合も同様にしてください。

取り付け

01

取り外しと逆の手順で取り付けます。

取り付け後は、バックルを留めてアジャストベルトを引いて肩ベルトを締めておきます。

参照 P33 ▶バックルの使いかた▶バックルの留めかた

参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶締めかた▶01



ポイント！

ソフトパッドの取り付けがきつい場合は、ハーネスをゆるめて操作してください。

ヘッドサポートの調節

お子さまが成長して頭部が窮屈になったら、ヘッドサポートを取り外します。ヘッドサポートの脱着はソフトパッドを本製品に取り付けた状態で行うことができます。

01

あらかじめバックルを外しておきます。

02

ヘッドサポートはボディサポートの裏側にホックボタン（2カ所）で留められています。ホックボタンを外してヘッドサポートを取り外します。



ポイント!

ヘッドサポートの下部は、クッションとボディサポートに挟まれた状態でボディサポートにホックボタン（2カ所）で留められています。

03

ヘッドサポートの取り付けは取り外しの逆の手順で行ってください。

警告

ヘッドサポートは正しくホックボタンで取り付けること

ヘッドサポートを取り付ける場合は、ボディサポートにホックボタン（2カ所）で確実に固定してください。ホックボタンを固定せずを使用すると、事故や衝撃を受けた際にヘッドサポートが移動し、お子さまの頭部に過剰な衝撃が加わるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ボディサポート/クッション

お子さまの身体が窮屈な状態になったらボディサポートからクッションを取り外して使用することができます。

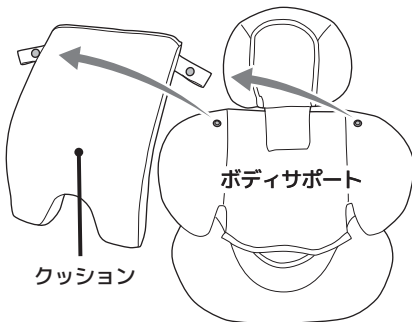
01

あらかじめソフトパッドをシェル（本体）から取り外してください。

参照 P38 ▶ソフトパッド▶取り外し▶01-03

02

クッションはボディサポートの裏側にホックボタン（2カ所）で固定されています。ホックボタンを外してクッションを取り外してください。



03

ボディサポートのみで使用する場合はボディサポートをシェル（本体）に取り付けます。取り付け、取り外しの方法はソフトパッドと同様です。

参照 P14 ▶ソフトパッドの使用

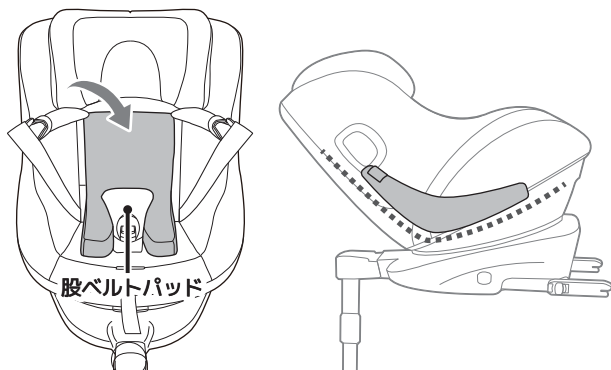
参照 P39 ▶ソフトパッド▶取り付け

04

クッションは単体でも使用可能です。リクライニングの状態やお子さまの成長、体格に合わせてご使用ください。

クッションを使用するにはクッションの先端のU字部を股ベルトパッドに掛けるようにしてシェル（本体）に乗せます。

参照 P14 ▶ソフトパッドの使用



☞ポイント！

上図のようにシェルの背もたれと座面の境目の位置にクッションの背面の角を合わせてください。

05

ボディサポートへのクッションの取り付けは02の逆の手順で行います。

サイドインパクトプロテクション

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和するサイドインパクトプロテクションが同梱（2個）されています。

サイドインパクトプロテクションは1個のみ使用します。1個は紛失時の予備となります。

サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で本製品シートの自動車のドア側になるように取り付けてください。

実際にご使用になる前にサイドインパクトプロテクションを取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかをご確認ください。また、本製品の回転機構を使用した際にドアや座席に干渉しないことを確認してください。

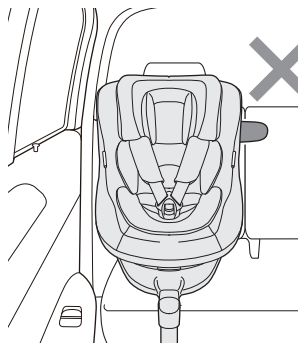
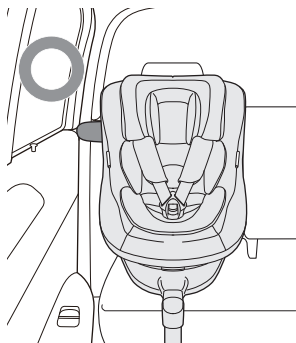
サイドインパクトプロテクションがドアにあたり干渉する場合はサイドインパクトプロテクションを取り付けずに本製品を使用してください。

⚠注意

サイドインパクトプロテクションはドア側に取り付けること

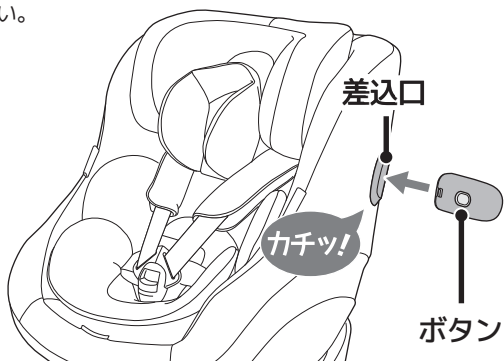
中央席側（他の乗員側）には取り付けないでください。事故や衝撃を受けた際に中央席側の乗員にサイドインパクトプロテクションがあたりケガをするおそれがあります。

本製品は、シェルを回転させることにより、後ろ向きまたは前向きにして使用しますのでご注意ください。サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で自動車のドア側になるように取り付けます。本製品を使用する向きに応じて左右を確認してサイドインパクトプロテクションを取り付けてください。



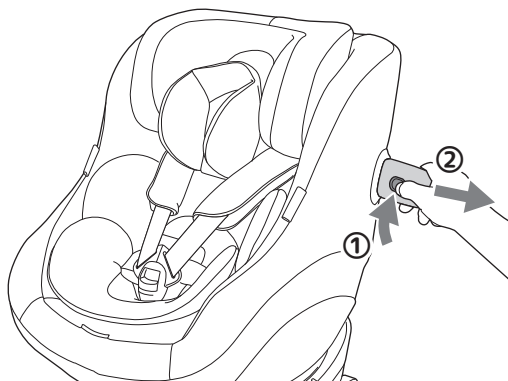
01

サイドインパクトプロテクションを取り付けるには、取り付ける側のシェル側面の差込口にサイドインパクトプロテクションのボタンを手前側にして差し込みます（座席を前側から見た状態の手前側です）。
「カチッ」と音がしてサイドインパクトプロテクションが固定されたことを確認してください。



02

取り外すには、①サイドインパクトプロテクションのボタンを押しながら、②引き抜きます。



自動車の座席への取り付け・取り外し

⚠警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

安全のため、取り付け、取り外しの作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品やお子さまが落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

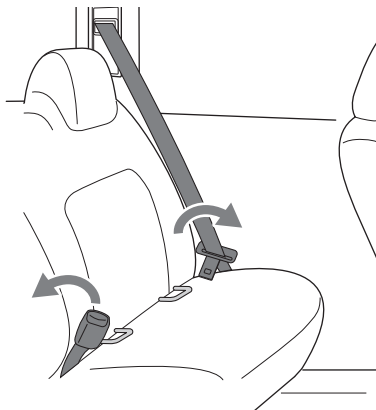
取り付けかた

本製品はシェルが回転することにより、後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。

自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向き、どちらの状態でも可能です。ここでは前向き状態にしての取り付けを図示していますが後ろ向き状態にしての取り付け方法も基本的には同じです。

01

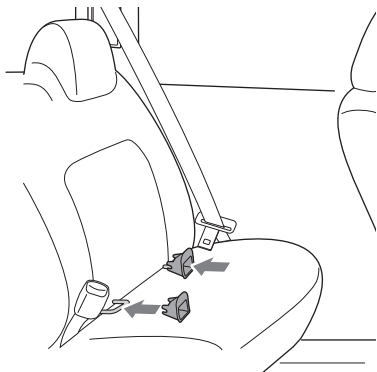
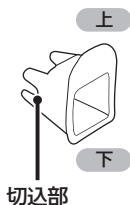
本製品を取り付けるシートベルトのシートベルトは留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックルその他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。

ISOFIX ガイドには上下がありますので上下を間違わないように注意して切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください（左右はありません）。



☞ ポイント！

車種によっては座席の仕様により ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

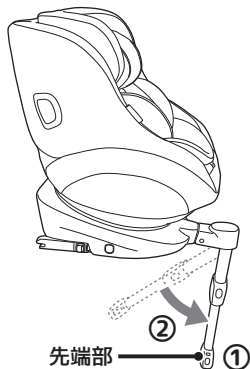
ISOFIX 固定バーは座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますのでお車の取扱説明書をご確認ください。

03

- ①サポートレッグの先端部を手で支えて、
- ②サポートレッグを完全に開きます。

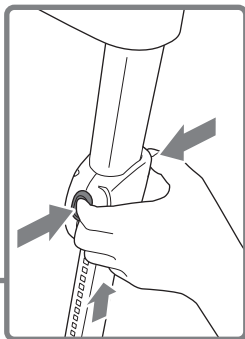
⚠注意

サポートレッグは固定されていません
サポートレッグは閉じた状態で固定されていません。シェルを持ち上げるとサポートレッグが開いて先端部が下に引き出されますのでご注意ください。



👉ポイント!

サポートレッグの先端部はサポートレッグが開くと自動的に引き出されま
す（安全のため自重で下に引き出されるように設計されています）。
以下の操作時にサポートレッグを一旦短くする場合はサポートレッグの中
間部にある左右のサポートレッグアジャストボタンを同時につまんでサ
ポートレッグの下側を短くしながら操作してください。サポートレッグア
ジャストボタンから手を放すとサポートレッグは自重で下に引き出されま
すのでご注意ください。



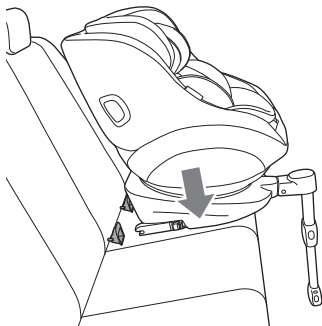
04

本製品をシート座面に乗せます。

⚠注意

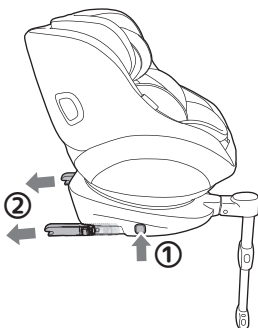
シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで固定すること

本製品のシェルは所定の操作により回転させることができます。シェルは前向きまたは後ろ向きの状態のみ固定されます。シェルが横や斜めに向いた状態で本製品を持つとシェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。前向き、後ろ向きのどちらの向きで取り付けても、所定の操作を行うことによってシェルは回転させることができます。



05

ベース側面左右の、① ISOFIX コネクターアジャストボタンを押し込んで、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出します。

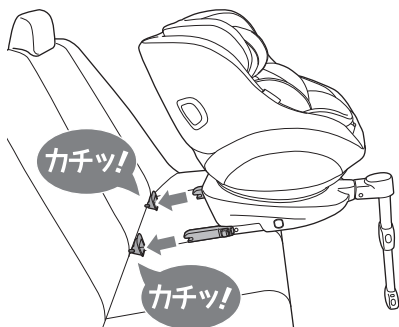


👉ポイント!

ISOFIX コネクターアジャストボタンは左右連動しています。左右のいずれか一方を押し込めば ISOFIX コネクターを引き出すことができます。

06

左右の ISOFIX コネクターをそれぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。
カチッと音がして座席の ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。



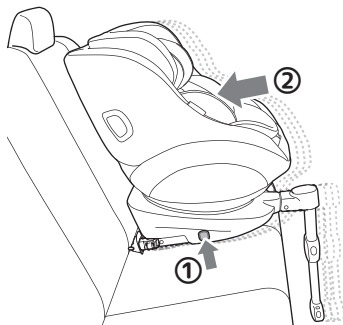
👉 ポイント!

シート生地によっては摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。

その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

07

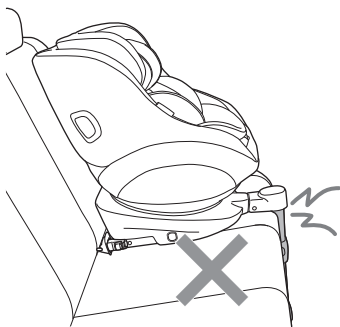
ベース側面左右の、① ISOFIX コネクターアジャストボタンを押し込んで、
②本製品を座席の背もたれ側に押し付けます。



警告

無理に押し込まないこと

サポートレッグがシート座面先端に極端に強く押し付けられると本製品がシートから浮いたり、サポートレッグが正常に機能しなくなったりするおそれがあります。



ポイント！

ISOFIX コネクターは前後 10 段階で調節することができます。

08

本製品を自動車のシート背もたれに押し付けすぎた場合は ISOFIX コネクターアジャストボタンを押し込んで本製品を手前に引き出して位置を調節してください。この際手前に引き出しすぎないように注意してください。

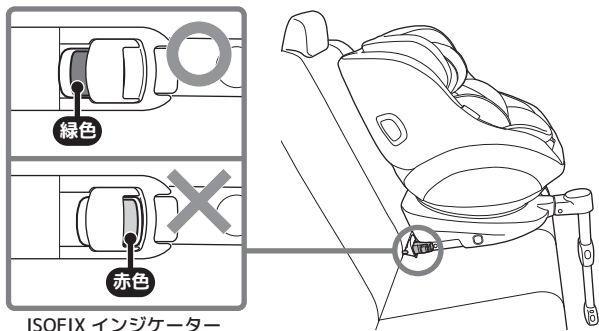
ポイント！

本製品を座席の背もたれに押し付けた際に自動車のシートのヘッドレストと本製品のシェルが干渉する場合は、ヘッドレストの角度や高さを調節するかヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せずトランクの中など安全な場所に収納してください。

09

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。**かならず左右両方とも確認してください。**

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合はもう一度操作をやりなおしてください。



⚠危険

ISOFIX コネクターは確実に固定すること

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合は本製品は正しく取り付けられていない状態ですので両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

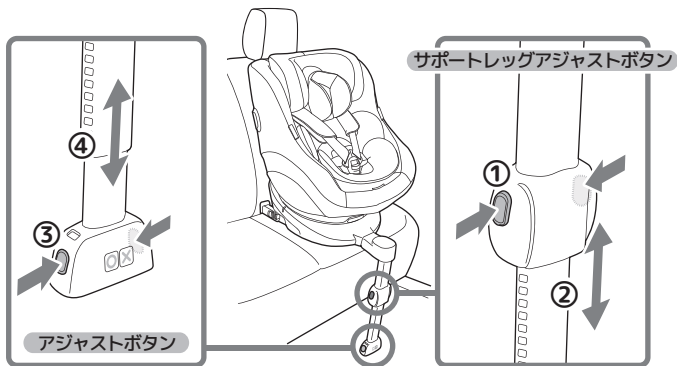
 **ポイント!**

ISOFIX コネクターのインジケーターを確認するため明るい場所で作業するか懐中電灯で照らすなどしてください。

また、ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっている場合でも念のため本製品を軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認するようにしてください。

10

①サポートレッグアジャストボタンを左右からつまむようにして握り、②サポートレッグを調整します。サポートレッグを長くしすぎて本体底面の先端（サポートレッグ側）がシート座面から浮き上がらないようにご注意ください。③アジャストボタンを同様に操作して高さを調整します。本体底面がシート座面に接した状態でサポートレッグの先端の底面が完全に床面に接する長さに調整してください。



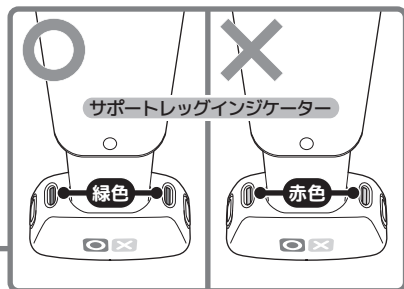
11

サポートレッグ先端のサポートレッグインジケーターが左右とも完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合は、左右のサポートレッグインジケーターが緑色になるようにサポートレッグを調節してください。



👉 ポイント！

サポートレッグの先端が床面に接地しているにも関わらずサポートレッグインジケーターが完全に緑色にならない場合は、本製品の先端部を少しだけ持ち上げてアジャストボタンを操作してみてください。



⚠️ 危険

サポートレッグインジケーターが赤色の状態では使用しないこと

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合はサポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節してサポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

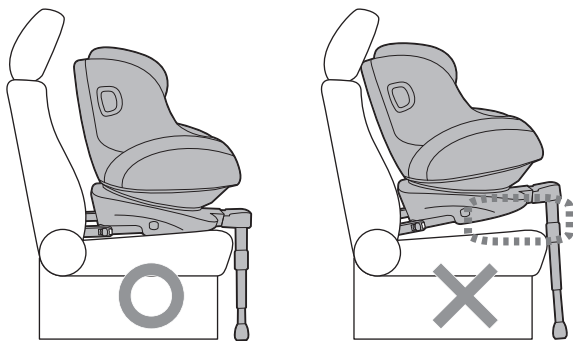
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは安全上大変重要な部品です。サポートレッグは自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能なくなるおそれがありますのでサポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

警告

本製品のベースをシート座面から極端に浮かせないこと

サポートレッグを調節する際に本製品の底面が座面から極端に浮かないようにしてください。本製品の底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。



注意

サポートレッグは常に正しい状態にしておくこと

お子さまを乗せていない場合でも、サポートレッグの先端は床面に接した状態にして固定し、サポートレッグを正しい状態にしておいてください。

12

念のためベースを手前に引いて ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定バーに固定されていることを確認してください。

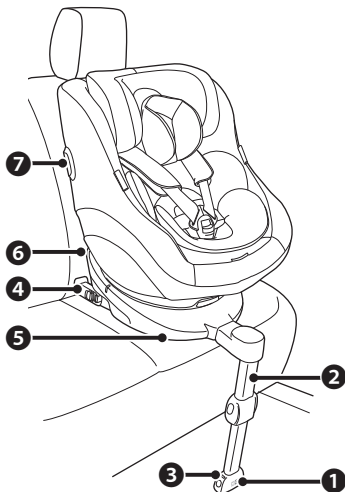
13

サイドインパクトプロテクションがドアに干渉しないことを確認します。

参照 P42-43 ▶ サイドインパクトプロテクション

14

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



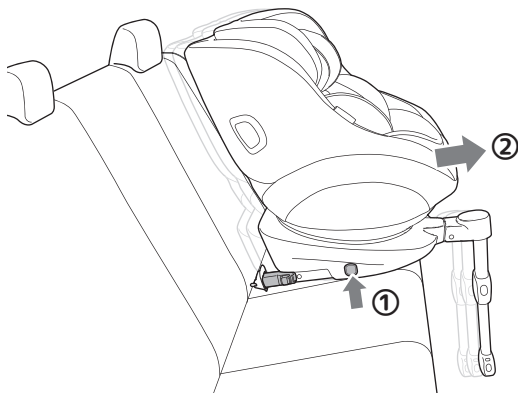
チェックリスト

- ① サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの接する床面が平らで安定していること。
サポートレッグの下や周辺に物品が置かれていないこと。
- ② サポートレッグが完全に開かれていること。
- ③ サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
- ④ ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定バーに固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ⑤ 本製品の底面がシート座面から極端に浮いていないこと。
- ⑥ 本製品がしっかりとシート背もたれ側に押し込まれていて ISOFIX コネクターがしっかりと奥まで押し込まれていること。
- ⑦ サイドインパクトプロテクションはドア側に取り付けること。他の乗員側（中央席側）には取り付けないでください。

取り外しかた

01

① ISOFIX コネクターアジャストボタンを押し込んで、②ベースまたはシェルを手前側に引きだします。最後まで引き出してください。

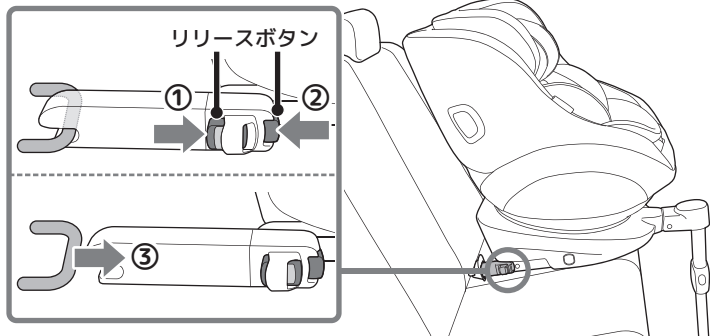


02

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから取り外します。

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。①のリリースボタンを押しながら同時に、②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除してベースまたはシェルを手前に引いて、③ ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから抜きます。

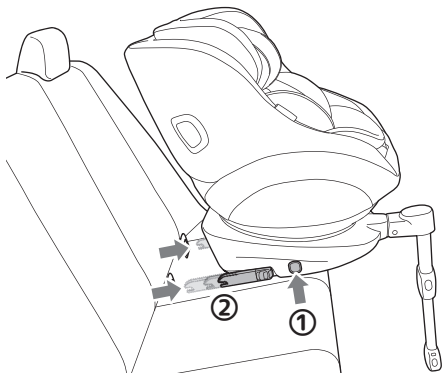


 **ポイント!**

ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながらシェルまたはベースを手前に引いて取り外します。手前に引かないと ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

03

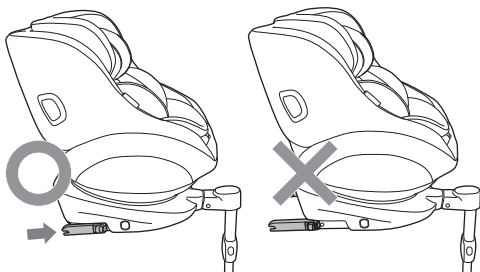
① ISOFIX コネクターアジャストボタンを押し込んで、② ISOFIX コネクターをベース内に収納します。最後まで収納してください。



 **注意**

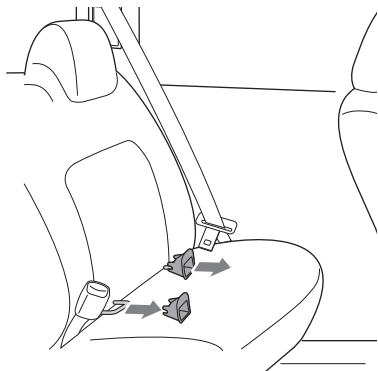
ISOFIX コネクターをベース内に完全に収納しておくこと

本製品の破損やケガを防ぐためにも、本製品を自動車のシートから取り外した場合は ISOFIX コネクターはベースに収納するようにしておきます。



04

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドは、なくさないよう大切に保管してください。



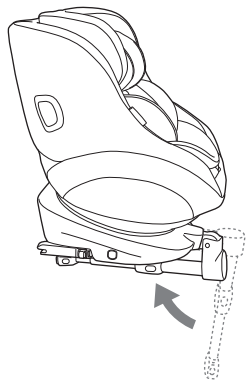
⚠ 注意

ISOFIX ガイドを取り外しておくこと

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり乗員がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、かならず取り外してお子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

05

本製品を自動車から取り出してサポートレッグを閉じておきます。



⚠ 注意

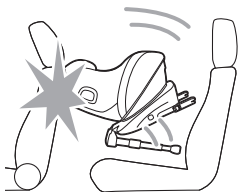
サポートレッグは固定されません

サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち車外に取り出します。

⚠警告

本製品を座席から取り外したらかならず車外に出しておくこと

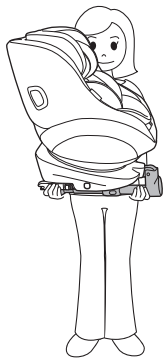
本製品を座席から取り外した状態で車内に置かないでください。本製品が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり、他の乗員にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

本製品を持ち運ぶ際にはサポートレッグに手を添えておくこと

サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。本製品を持ち運ぶ際にはサポートレッグに手を添えて持ち運ぶようにしてください。



座席（シェル）の回転

⚠注意

回転操作は本製品をシートに取り付けてから行うこと

シェルの回転操作は本製品をシートに固定した状態で行います。固定されていないとシェルが思わぬ動きをすることがあります。

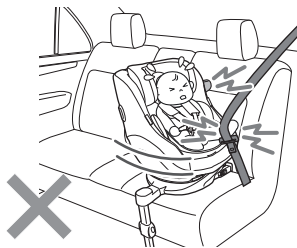
本製品はシェルが回転することにより自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きに切り替えて使用することができます。

また、お子さまの乗せ降ろしの際にシェルを回転させるとよりスムーズに乗せ降ろしができます。

⚠危険

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること

お子さまがシートベルトに引っかかったり、お子さまの手足がシートと本製品の間にかかっていたりすると思わぬ事故につながるおそれがあります。また、サイドインパクトプロテクションがシートやドアに引っかかって破損するおそれがあります。ケガをするおそれがありますので、シェルを回転させる際には安全を確認してゆっくりと回すようにしてください。



前向きでの使用には制限があります

使用できるシェルの向きは基準により定められています。使用できるお子さまの条件をかならず守ってください。

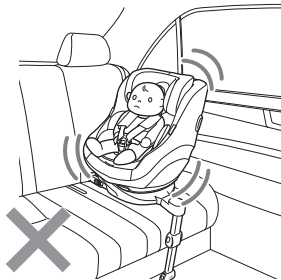
参照 P12-13 ▶使用できるお子さまの条件

⚠危険

シェルは向きを決めて固定して使用すること

本製品はお子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、お子さまの身長、体重、月齢に応じて座席（シェル）を、前向き、後ろ向きいずれかの向きで確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横や斜めなど中間位に向けた状態では絶対に使用しないでください。



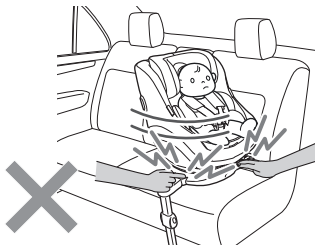
⚠警告

走行中はシェルを回転させないこと

走行中にシェルを回転させると思わぬ事故につながるおそれがあります。シェルの回転は安全な場所に自動車を停めた状態で行ってください。

可動部に手指を置かないこと

シェルの回転時に手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際はお子さまの安全だけではなく、回転操作する方も安全を確認して可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。





注意

シェルは常に固定しておくこと

お子さまが乗っていない場合でも、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかの向きで固定しておいてください。自動車の走行中にシェルが動くと思われぬ事故につながるおそれがあります。

無理に回転させないこと

シートやドア、車内の構造物に干渉して回転できない場合は無理に回転させないでください。シートやドア、車内の構造物に傷がついたり本製品が破損するおそれがあります。

自動車のシートの調整

あらかじめ本製品を正しく取り付けられた状態でスムーズにシェルを回転できるかをあらかじめ確認します。

シェルの回転時にシートの背もたれやシートのヘッドレストとシェルが干渉する場合があります。その場合は以下のように対応してください。

スムーズに回転する場合には以下の操作は必要ありません。

ヘッドレストと干渉する場合

シートのヘッドレストの高さを調節するか、または取り外してください。

この場合、取り外したヘッドレストはそのまま車内に置かずにかかわらず自動車のトランクなど安全な場所で保管するようにしてください。

ヘッドレストが外せない／調節できない場合

シートの背もたれと干渉する場合

ISOFIX コネクターを操作して本製品をシートから少し離してから回転させてください。

回転後はかならず ISOFIX コネクターアジャストボタンを操作して本製品をシート背もたれに押し込んでください。

参照 P55 ▶取り外しかた▶ 01 ※最後まで引き出す必要はありません

参照 P48-49 ▶取り付けかた▶ 07-08



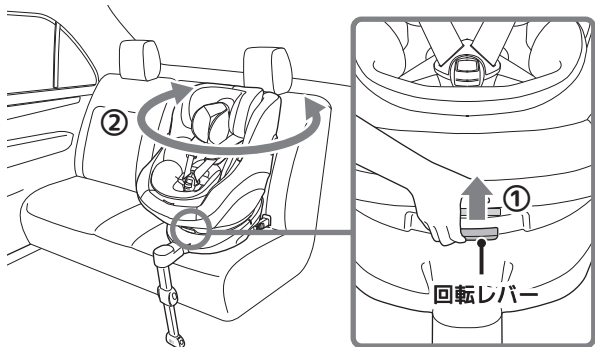
ポイント！

この操作を繰り返すとシート座面に傷をつけるおそれがあります。あらかじめご了承ください。

後ろ向きに回転させる

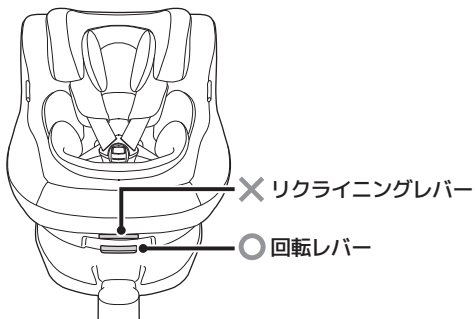
01

シェルの足元部先端にある、①回転レバーを押し上げて、②シェルを回転させます。シェルは左右どちらにも回転します。



ポイント！

シェルの足元部先端には回転レバーとリクライニングレバーが上下に並んでいます。回転レバーは下側のレバーです。リクライニングレバーと間違わないようにしてください。



02

お子さまを乗せ降ろしする場合はドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので乗せ降ろしの際にはご注意ください。



03

そのまま後ろ向きになるまで回転させるとカチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。



04

シェルを左右に動かしてみて完全に後ろ向きで固定されていることを確認してください。

前向きに回転させる

後ろ向きから前向きへの回転の場合はシートの背もたれと本製品のすき間に手を差し入れて操作します。

狭い空間に手を差し入れますのでケガをしないように注意して操作してください。

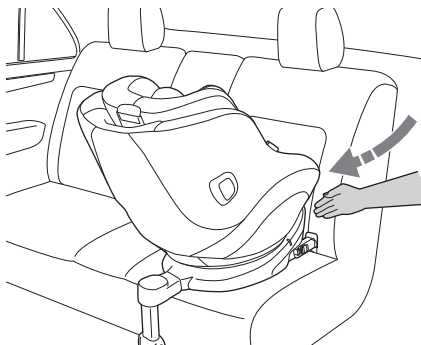
⚠危険

お子さまが規定の条件になるまでは前向きで使用しないこと

お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 カ月を超えるまでは前向きにして使用することはできません。

01

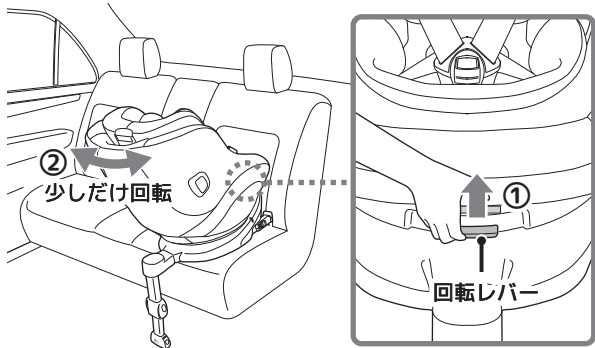
シェルとシートの背もたれの間から横側から手を差し入れます。



02

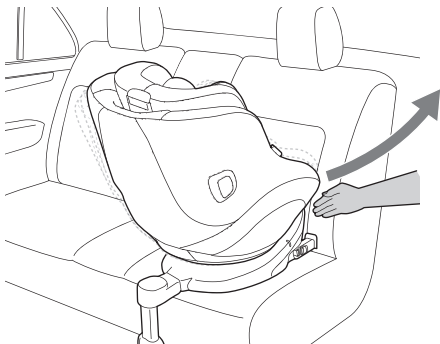
①回転レバーを押し上げて、②シェルを少しだけ回転させてシェルとベースの固定を解除します。シェルは左右どちらにも回転します。

回転レバーの上にリクライニングレバーがありますので間違わないように注意してください。



03

回転レバーから手を離してすき間から手を抜きます。



⚠注意

すき間に手を入れたままで回転させないこと

手指がシェルやベースとシートの背もたれベースに挟まれてケガをするおそれがあります。

04

そのまま前向き方向に回転させます。お子さまを乗せ降ろしする場合はドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので乗せ降ろしの際はご注意ください。



05

そのまま前向きになるまで回転させるとカチッと音がしてシェルが前向きで固定されます。



06

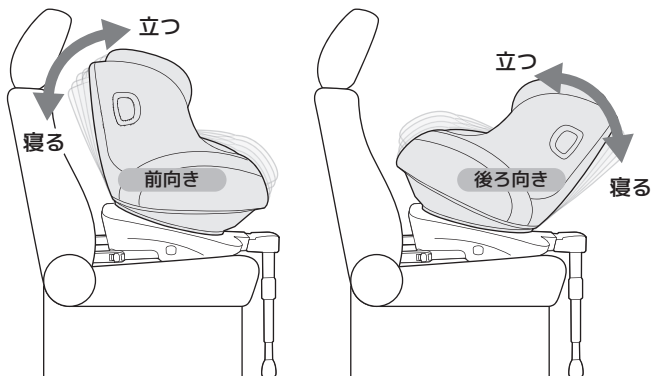
シェルの左右に動かしてみて完全に前向きで固定されていることを確認してください。

リクライニング

本製品にはシェル（背もたれ）の角度を変えるリクライニング機構が装備されています。

リクライニングは5段階で調節可能です。

後ろ向き、前向きとも5段階で調節して使用することができます。



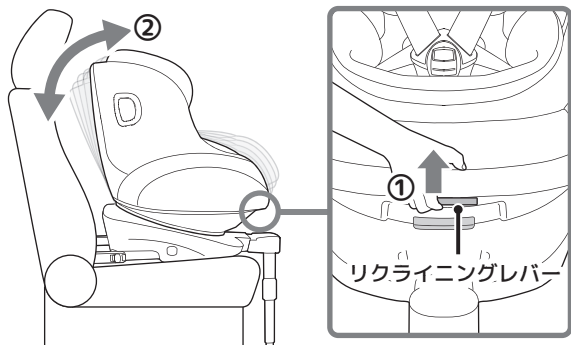
ポイント！

リクライニングはお子さまの成長に応じて適切に調節してください。特に、月齢の低い間はリクライニングを立て過ぎないように注意して、お子さまの様子を常に確認しながらリクライニングの調節をするようにしてください。

01

シェルの足元部先端にある、①リクライニングレバーを押し上げて、②シェルの角度を調節します。

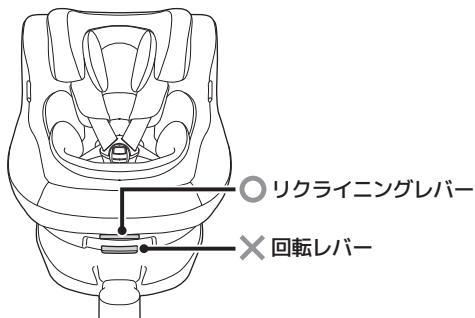
リクライニングの操作を行った後はサポートレッグの状態を再確認するようにしてください。



参照 P52 ▶取り付けた▶ 11

☞ポイント!

シェルの足元部先端には回転レバーとリクライニングレバーが上下に並んでいます。リクライニングレバーは上側のレバーです。回転レバーと間違わないようにしてください。

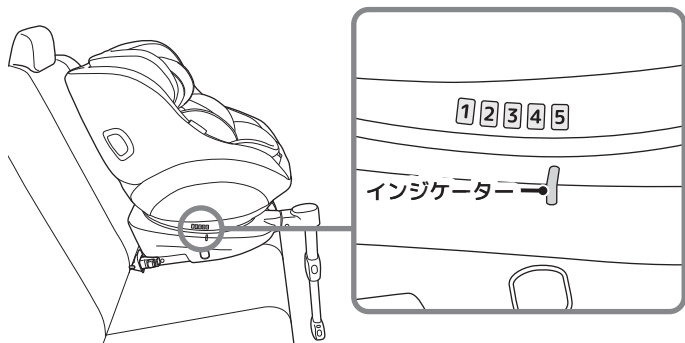


 **ポイント!**

後ろ向きにして本製品を使用している場合は、一旦シェルを前向きに回転させてリクライニングを調節してから後ろ向きに戻すと操作がしやすくなります。

02

リクライニングの段階はベースのインジケーターで確認できます。1~5の段階で調節が可能で、前向き使用時、後ろ向き使用時ともすべての段階で使用することができます。



 **ポイント!**

上図は前向き使用時の場合を示しています。後ろ向き使用時の場合には数字の並びは逆になりますが前向き、後ろ向きとも、リクライニングの角度は数字の小さい方が寝た状態で、大きい方が立った状態になります。

お子さまの乗せかた



危険

正しい向きで使用すること

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を過ぎるまでは後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。



警告

お子さまの乗り降りには本製品をシートに取り付けた状態で行うこと
お子さまを乗せたままで本製品の取り付け、取り外しを行わないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。

後ろ向きで使用する場合

使用できるお子さまの条件をお守りください。

お子さまの身長が 105cm（かつ体重 19.5kg まで）まではシェルを後ろ向きにして使用することができますが、後ろ向きにして使用するとお子さまの足がシートの背もたれにあたるようになった場合、お子さまが前向きで使用可能な条件を満たしていれば前向きにして使用してください。

準備

01

お子さまの月齢、体格に合わせてソフトパッドを調節します。

参照 P14 ▶ソフトパッドの使用

参照 P37-41 ▶ソフトパッド

ポイント!

お子さまの身長が 60cm を超えるまではすべてのソフトパッドを取り付けて使用することをお勧めします。

02
本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

参照 P54 ▶取り付けかた▶ 14

03
お子さまの成長やシート座面の角度に応じてリクライニングの角度を調節してください。

参照 P67-69 ▶リクライニング

04
シェルが後ろ向き状態でドア側になるようサイドインパクトプロテクションを取り付けます。

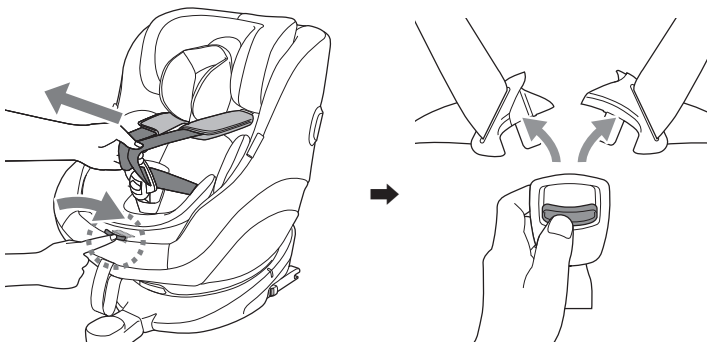
参照 P42-43 ▶サイドインパクトプロテクション

お子さまの乗せかた

01
必要に応じてお子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P59-66 ▶座席（シェル）の回転

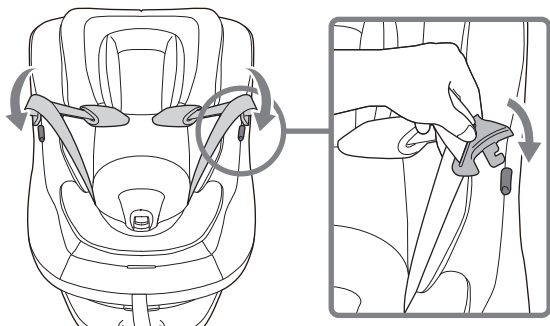
02
あらかじめ肩ベルトをゆるめてバックルを外しておきます。



参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

03

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないように左右の差込みタングをそれぞれ外側に出して、差込みタングホルダーに差し込んでおきます。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルト(受けバックル)を両足の間に入れます。



ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり深すぎたりしないようにご注意ください。



危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず事故や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。かならずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

左右の差込みタングを差込みタングホルダーから外して肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、**腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通る**ようにしてカチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。



警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないことを確認してください。

ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうとさらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

06

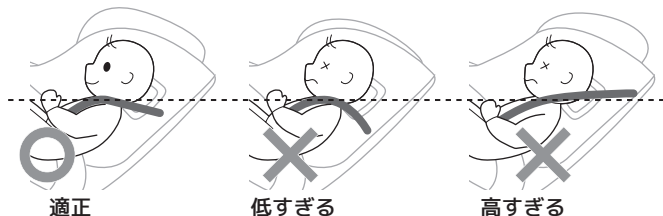
肩ベルトの高さを確認、調節します。

ハーネスが締め付けられている場合はさらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

07

肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。肩ベルトの高さ（ヘッドレストの高さ）は6段階で調節可能ですので、お子さまの肩の高さと水平になる段階に調節します。



参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶02

ポイント!

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さはかならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

注意

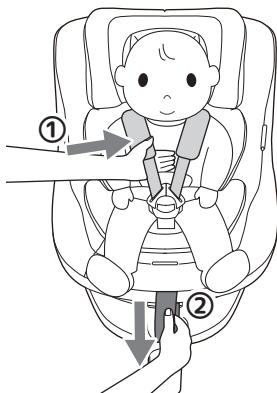
やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間にはさまれるまで締め付けるようにします。



 **ポイント!**

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使って肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

 **危険**

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますのでアジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。かならず適切な強さで締め付けるようにしてください。

09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにかならず確認して正しくなるように調節してください。



⚠危険

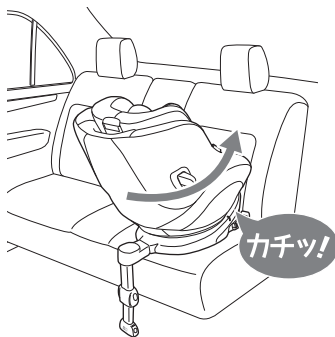
ハーネスを正しい状態にすること

肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスはかならず正しい状態にして使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

10

シェルを後ろ向きに回転させて固定します。カチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されるまで回転させてください。

固定されたらシェルを軽く動かして確実に固定されていることを確認します。



参照 P62-63 ▶後ろ向きに回転させる

⚠危険

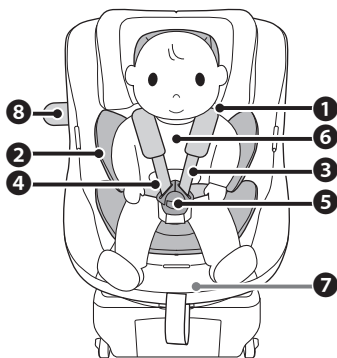
シェルを確実に固定すること

シェルを後ろ向きで確実に固定させて使用してください。固定されていないと使用中にシェルが回転して思わぬ事故につながるおそれがあります。

11

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。

正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること
- ② ソフトパッドが正しく取り付けられていること（生後6カ月頃まで体格が合う場合はすべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します）
- ③ ハーネスが適切に締め付けられていること
- ④ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
バックルボタン下に緑色のインジケーターが表示されていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること
- ⑧ ドア側にサイドインパクトプロテクションが取り付けられていること

12

お子さまを降ろすには降ろしやすい方向にシェルを回転させます。
バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

ポイント!

お子さまを降ろす際に以下の操作を行っておくと車に戻ってからお子さまをスムーズに乗せることができます。

参照 P71-72 ▶お子さまの乗せかた▶ 02-03

警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

13

お子さまを降ろした後、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

前向きで使用する場合

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ月齢 15 カ月以上になったらシェルを前向きにして使用することができます。

身長 105cm かつ体重 19.5kg (4 歳頃) まで使用することができます。

本製品はお子さまの体格が合えば身長 105cm かつ体重 19.5kg まで後ろ向きでも使用することができます。

ポイント!

本製品は使用可能な期間と条件において、使用可能な範囲の最終期まで後ろ向きの状態で使用することができます。

準備

01

本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

参照 P54 ▶取り付けかた▶ 14

02

必要に応じてソフトパッドを調節します。

参照 P14 ▶ソフトパッドの使用

03

シェルが前向き状態でドア側になるようサイドインパクトプロテクションを取り付けます。

参照 P42-43 ▶サイドインパクトプロテクション

お子さまの乗せかた

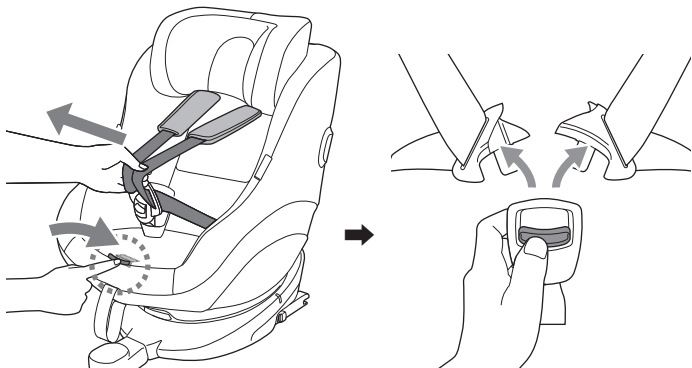
01

必要に応じてお子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P59-66 ▶座席（シェル）の回転

02

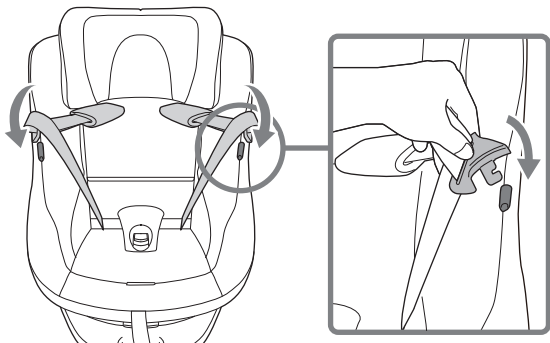
あらかじめ肩ベルトをゆるめてバックルを外しておきます。



参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

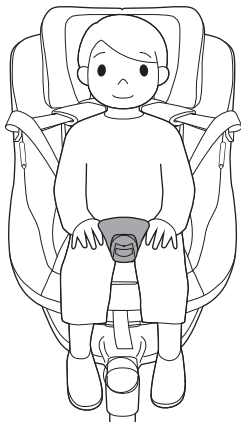
03

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないように左右の差込みタングをそれぞれ外側に出して、差込みタングホルダーに差し込んでおきます。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルト(受けバックル)を両足の間に入れます。



 **ポイント!**

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

 **危険**

お子さまを正しい姿勢で乗せること

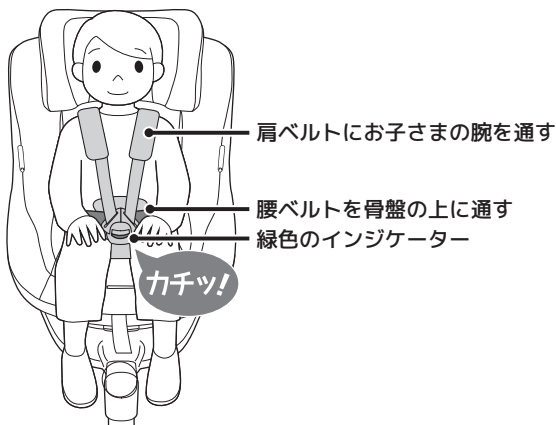
誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず事故や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。かならずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

左右の差込みタングを差込みタングホルダーから外して肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、**腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通る**ようにしてカチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。



警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうとさらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

ハーネスが締め付けられている場合はさらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

07

肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。**前向き使用時には、かならずお子さまの肩の位置と水平**になるようにします。



参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶02

👉 ポイント！

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。

また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

⚠️ 危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さはかならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

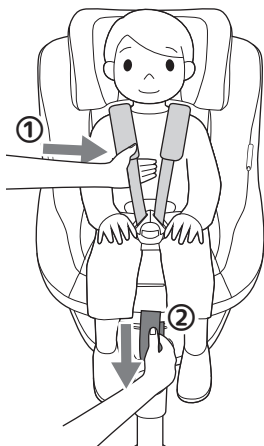
やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間にはさまれるまで締めつけるようにします。



☞ ポイント!

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使って肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P35 ▶ 肩ベルトの長さ調節 ▶ ゆるめかた ▶ 01

⚠危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

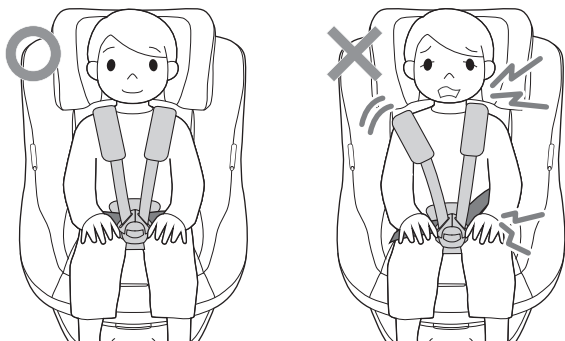
肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますのでアジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。かならず適切な強さで締め付けるようにしてください。

09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにかならず確認して正しくなるように調節してください。



⚠危険

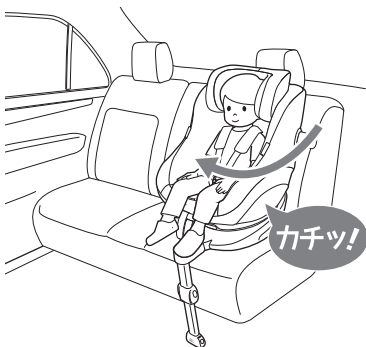
ハーネスを正しい状態にすること

肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスはかならず正しい状態にして使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

10

シェルを前向きに回転させて固定します。カチッと音がしてシェルが前向きで固定されるまで回転させてください。

固定されたらシェルを軽く動かして確実に固定されていることを確認します。



参照 P64-66 ▶前向きに回転させる

⚠危険

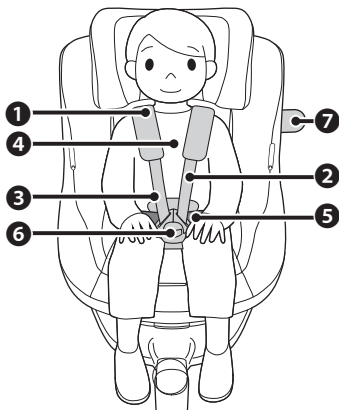
シェルを確実に固定すること

シェルを前向きで確実に固定させて使用してください。固定されていないと使用中にシェルが回転して思わぬ事故につながるおそれがあります。

11

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。

正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

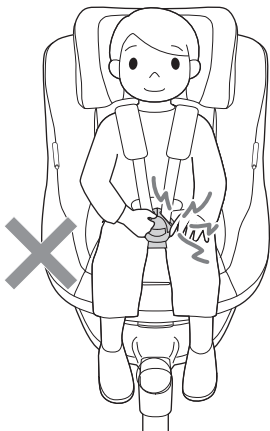


チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること
- ② ハーネスが適切に締め付けられていること
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
- ④ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑤ 肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑥ バックルがしっかりと留まっていること
バックルボタン下に緑色のインジケーターが表示されていること
- ⑦ ドア側にサイドインパクトプロテクションが取り付けられていること

12

お子さまにはバックルを触らないよう言い聞かせてください。



⚠危険

バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいように操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると自ら外してしまうおそれがあります。本製品の使用中は、乗降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう普段から言い聞かせるようにしてください。

13

お子さまを降ろすには降ろしやすい方向にシェルを回転させます。バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

👉ポイント！

お子さまを降ろす際に以下の操作を行っておくと車に戻ってからお子さまをスムーズに乗せることができます。

参照 P80-81 ▶お子さまの乗せかた▶ 02-03

お子さまを降ろした後、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

⚠警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためにカバー類、肩ベルトパッドを取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー類、肩ベルトパッドをかならず元に戻してください。

⚠警告

カバー類や肩ベルトパッド、その他の部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない限り部品を取り外して使用しないでください。カバー類、肩ベルトパッド、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。



カバー類を外した状態の本製品はお子さまの手の届かない場所で保管すること

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバー類やパッド類、クッション類を取り外した場合、取り付け直すまでの間はお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

内部機構に手を加えないこと

カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

ソフトパッド、カバー類、肩ベルトパッドの取り外し

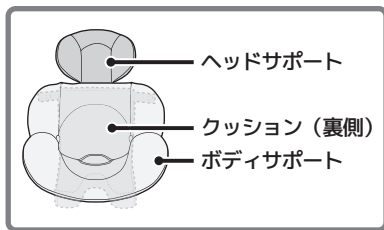
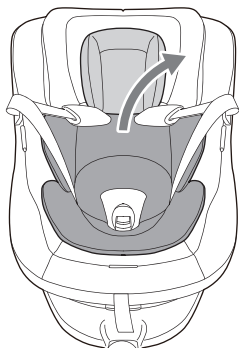
ポイント！

取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う際に各作業をデジタルカメラやスマートフォンなどで撮影しておくことで後から操作が確認できて便利です。

ソフトパッド

01

ソフトパッドを取り付けて使用している場合はソフトパッドを取り外してください。



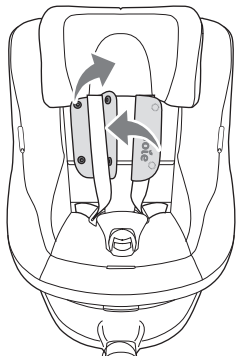
肩ベルトパッド

01

あらかじめバックルを外しておきます。

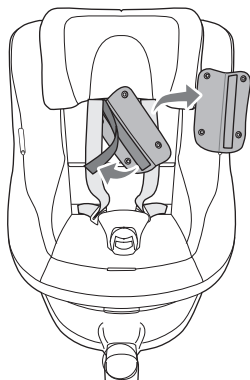
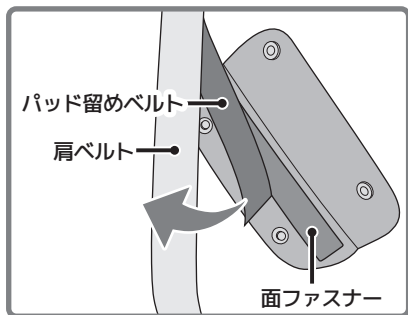
02

肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右とも同じようにしてください。



03

肩ベルトパッドと肩ベルトの下側（裏側）のパッド留めベルトを留めている面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外すことができます。



 **ポイント!**

ヘッドレストを高い位置に調節（引き上げる）しておくとしoulderパッドの取り外しがしやすくなります。

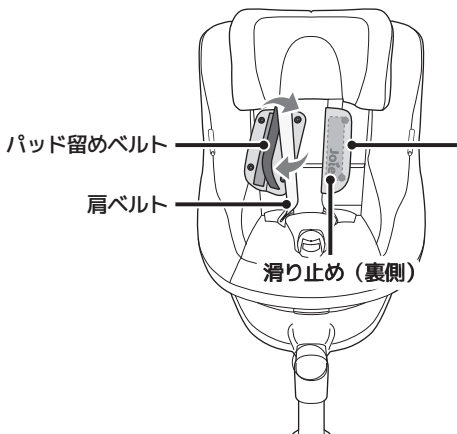
参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶ 02

04

肩ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドには左右があります。ホックボタンのない側をお子さまの身体の内側にして、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトの下側にあるパッド留めベルトに留めてください。



ホックボタンがない側をお子さまの身体の内側にして、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

ヘッドレストカバー

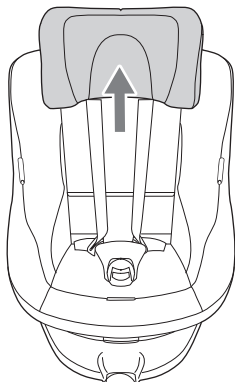
ポイント！

肩ベルトパッドの取り外しから続けての操作を説明しています。

01

ヘッドレストを最も高い位置に調節します。

参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶ 02



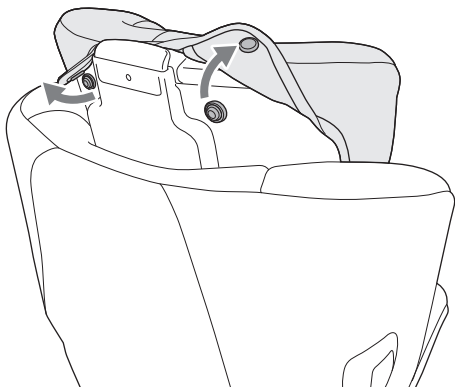
ポイント！

ハーネスが引っかかってヘッドレストを高い位置に調節できない場合は、ハーネスをゆるめてから操作しなしてください。

参照 P35 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

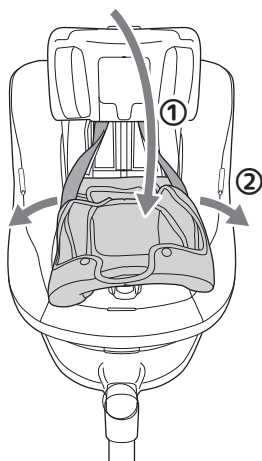
02

ヘッドレスト後部でヘッドレストカバーを留めているホックボタン(2カ所)を外します。



03

①ヘッドレストカバー上部を前方にめくって外し、②肩ベルトを外してヘッドレストカバーを取り外します。



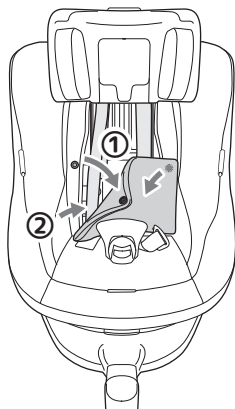
慎重に作業してください

ヘッドレストカバーが引っかかった感じがする場合は無理をせず、引っかかった場所がないか確認するようにしてください。

ヘッドレストの内側に取り付けられている、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

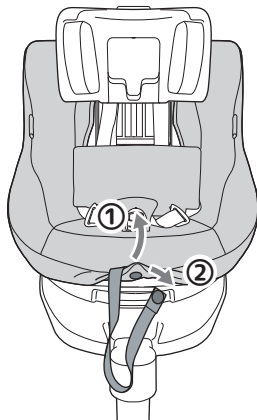
04

①本製品の背もたれ部の中央左右でシートカバーを留めてあるホックボタンを外して、②肩ベルトを内側にしておきます。左右とも同じようにしてください。



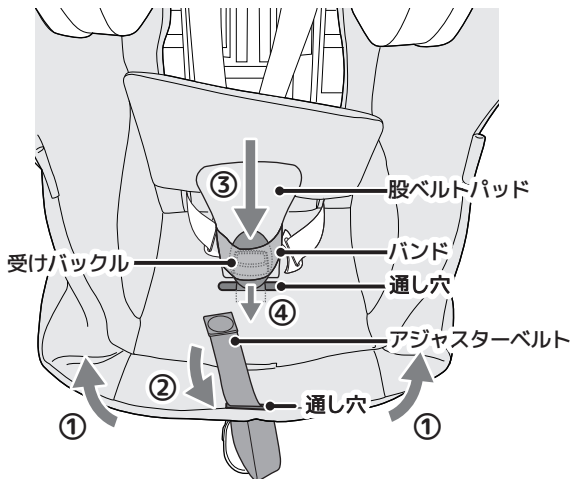
05

①シートカバーの前端部をめくってシートカバーの裏側で、②アジャスターベルトの先端を留めている面ファスナーを外します。



06

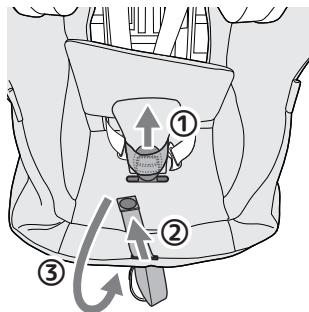
①シートカバー先端部をめくり、②アジャスターベルトをシートカバーの通し穴から抜き、③股ベルトパッドのバンドから受けバックルを抜いて、④そのまま受けバックルを通し穴から抜き取ります。



ポイント！

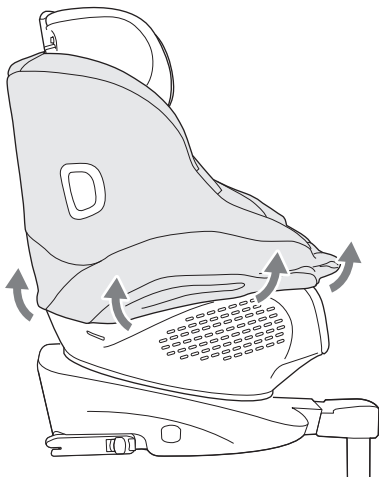
股ベルトパッドは、シートカバーに縫い付けられています。取り外しはできません。

シートカバーを取り付ける際には、忘れずに、①受けバックルを股ベルトパッドのバンドに通し、②アジャスターベルトを通し穴に通して、③アジャスターベルトの面ファスナーをシートカバー先端部の裏側の面ファスナーと合わせて留めてください。



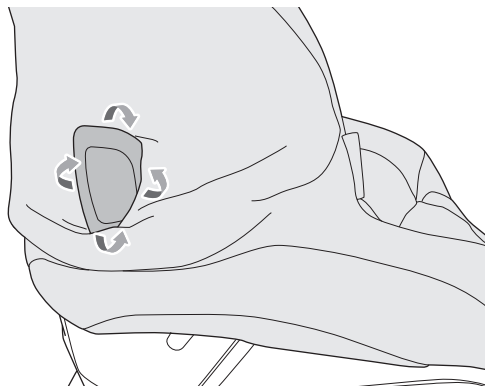
07

シートカバーの下部の縁を上方向にめくってシェルから外します。



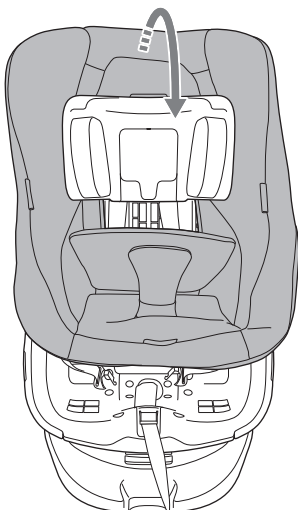
08

左右のサイドインパクトプロテクションの差込口の周囲にたくし込まれているシートカバーの生地を外します。左右とも同じようにして外してください。



09

シートカバーを引き上げながらヘッドサポートをシートカバーの隙間から抜くようにしてシートカバーを外します。



警告

内部機構に手を加えないこと

カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

注意

慎重に作業してください

ヘッドレストカバーが引っかかった感じがする場合は無理をせず、引っかかった場所がないか確認するようにしてください。

ヘッドレストおよびシェルの内側に取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

10

シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドは左右を間違わないように取り付けてください。

参照 P39 ▶ソフトパッド▶取り付け▶01

ソフトパッド、カバー類、肩ベルトパッドのお手入れ

取り外した、ソフトパッド、シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトパッドは以下の表示に従ってお手入れしてください。

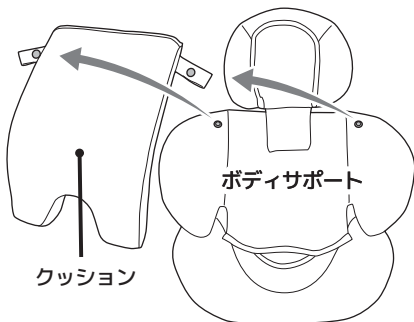
⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でソフトパッド、シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトパッドを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

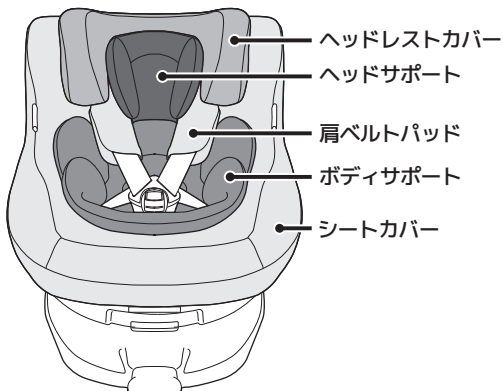
ソフトパッドのクッションは洗濯できません

ソフトパッドのクッションは洗濯前に取り外してください。変形、変質するおそれがありますので、お手入れする場合は水に浸さずにブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。



01

下図に示すカバー類、パッド類が洗濯可能です。



02

30°C以下の水で洗濯できます。

軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。

よく乾かしてから取り付けしてください。

ポイント！

汚れがひどい場合には薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合は真水でよくすすぎ洗剤を完全に落としてください。

⚠注意

アイロンは使用しないでください

破損、縮みの原因となります。

タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。

乾燥機は使用しないでください。

漂白剤は使用できません

劣化を早め、変退色の原因となります。

ドライクリーニングしないでください

劣化を早め、変退色の原因となります。

有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形、シワの原因となります。

シェル、ベース、ISOFIX コネクタ、サポートレッグのお手入れ

⚠危険

潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。これらが付着すると本製品を変質、破損させたり本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

樹脂部分

01

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合はお手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

注意

ウェットタオル（ウェットティッシュ）は使用しないでください
市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは樹脂部分のお手入れに使用しないでください。
含まれる成分によっては樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

ISOFIX コネクター・サポートレッグ

01

表面の汚れは、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか掃除機を使用して吸い取るようにしてください。

危険

水を直接かけないでください

サビが発生して本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合はしっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

他の部位のお手入れにおいても油類等の潤滑剤は使用できませんが、特にISOFIX コネクター、サポートレッグに潤滑剤を使用すると大変に危険ですので絶対に使用しないでください。

ポイント！

ISOFIX コネクターおよび自動車の ISOFIX 固定バーは常に清潔を保つようにしてください。

金属部分

01

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

バックルおよび ISOFIX コネクター、サポートレッグを除く金属部分に付着した食べかすなどの油分を含む汚れを落とす場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合はお手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。



危険

水を直接かけないでください

サビが発生して本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合はしっかりと乾燥させてください。

ハーネス（ベルト類）

01

肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、アジャスターベルトは取り外しできません。
お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。
洗剤類は使用しないでください。

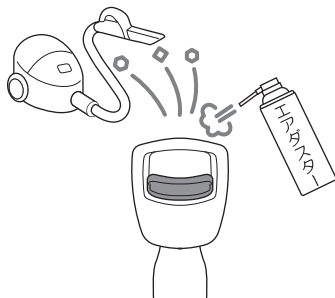
バックル（受けバックル、差込みタング）

01

バックル類は取り外しできません。
お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。
洗剤類は使用しないでください。

02

受けバックルの内側は市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか掃除機を使用して吸い取るようにしてください。



保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は自動車から取り外しておいてください。

ゴミやほこりがバックル内に入らないように保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所や露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従って正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	Joie チャイルドシート スピン360 Gti		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前		電話番号
	電話番号	-	-

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
- ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
- ・部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

0123RV2